

R3 星峯中学校 学校評価

評価 4：当てはまる 3：どちらかという当てはまる 2：どちらかという当てはまらない 1：当てはまらない

1学期 2学期 3学期

				1学期	2学期	3学期	
I	校務運営	教育目標	1	学校教育目標（「他とともに、よりよく生きる生徒の育成」）を意識して教育活動を進めている。	3.0	3.1	3.2
			2	一学校一改善（「一事徹底 ～教師も生徒も同じ思いで～」）を意識して指導に当たっている。	3.2	3.2	3.3
		校務分掌	1	担当する分掌の業務内容を理解するとともに、必要な改善・充実を図ったり計画的な遂行に務めたりしている。	3.2	3.2	3.5
			2	担当係からの全体への連絡や報告、関係する係・管理職等との相談など、連携は図られている。	3.1	3.1	3.4
		教育課程	1	当初の教育課程の編成は適切であり、また、必要な改善・調整等を行った上で、適切な内容で実施されている。	3.0	3.1	3.3
			2	授業時数を確保して、指導計画に基づいた教育活動が実施されている。	3.4	3.1	3.5
II	「主体的学・対話的育成で深い学び」を通じた	学習指導の充実	1	知識・技能の活用場面や学び合いの工夫などにより、思考力・判断力・表現力を育成する指導を進めている。	3.0	3.2	3.2
			2	「見通し」や「振り返り」の場を充実させることにより、学力の定着を図る指導を進めている。	3.1	3.1	3.2
			3	I C T機器の効果的な活用などにより、個別の学習や個に応じた学習の取組を進めている。	2.7	2.6	3.0
			4	家庭学習の課題の与え方や見届けを工夫するなどにより、自立的学習の習慣づくりを進めている。	3.0	2.9	2.9
			5	読書のよさや魅力に気付かせるなど、読書に親しむ指導が進められている。	3.1	3.1	3.1
		充特別支援教育の	1	校内委員会の計画的実施や研修、支援員との連携などにより、特別支援教育態勢の充実が進められている。	3.5	3.4	3.4
			2	支援を要する生徒への適切な支援・配慮の実施や保護者との連携が進められている。	3.2	3.2	3.3
			3	巡回相談の計画的活用等による適切な就学支援や教育委員会等との連携が進められている。	3.5	3.3	3.6
		III	目標達成の意欲や効力感に支えられた生活・学習	積極的な生徒指導の推進	1	学級経営や教科指導等あらゆる場面で生徒一人一人の人格形成の場であることを踏まえながら、「褒める・認める」、「叱る」を上手に使い、自己理解や効力感を感じさせる指導を進めている。	3.1
2	共感的な人間関係や支持的な風土のある学級づくりや集団づくり、生徒が教師に相談しやすい関係づくりを進めている。				3.1	3.2	3.2
3	規範意識の向上やアンケート等によるいじめ問題の未然防止・早期発見、本人や周囲からの訴えに即時に対応し、解決する体制づくりが進められている。				3.2	3.3	3.3
4	不登校傾向の早期発見のための教員間の情報交換、生徒の悩みや困り感の把握、担任任せにせず支援チーム等による対応などにより、不登校・不登校傾向の解消に向けた組織的対応が進められている。				2.9	3.0	3.1
5	問題行動等に対する教員間の速やかな連携と「見過ごさない」・「見届ける」指導を進めている。				3.3	3.3	3.4
特別活動の充実	1			学級活動での話し合い活動や目標を共有する取組の活性化などにより、自治的、自発的な活動の充実が進められている。	3.0	3.0	3.0
	2			専門部活動等への適切な指導・助言により、生徒会活動の活性化が進められている。	2.6	3.0	3.2
	3			生徒会活動との連携を図るなどにより、生徒の主体性を生かした学校行事の企画・運営が進められている。	2.4	2.9	3.1
充キャリア教育の	1			3年間の見通しと各学年での取組の意義を理解させることなどにより、キャリア教育の充実が進められている。	2.8	3.0	3.0
	2			体験的活動や外部人材等の効果的な活用などにより、望ましい職業観や就業観の育成が進められている。	2.7	2.8	3.0
	3			キャリアパスポートの活用などにより、自己理解を深めることや自己実現への意欲を醸成することが進められている。	2.7	2.8	3.0

IV	豊かな心や社会的自立の基礎を培う	の道徳教育	1	考え議論する場や活動内容、発問や教材の工夫等の工夫やそれらを共有化することなどにより、道徳科の充実が進められている。	3.1	3.0	3.3
			2	別業を活用するなどし、各教科等の教育活動で行う道徳教育を明確化・具体化して指導を進めている。	2.6	2.9	2.9
		の人権推進教育	1	全教育活動において、互いの人権・人格や生命尊重を基盤とした教育活動が進められている。	3.3	3.3	3.1
			2	いじめの問題やインクルーシブ教育、同和問題などの差別問題についての理解を深める研修等により、教員自身の人権感覚の向上や多様性を尊重した指導が進められている。	3.2	3.0	3.3
		育を立社会の培う基本的実教	1	郷土の学習素材や人材の活用、地域行事への参加などにより、郷土教育の取組が進められている。	2.5	2.6	2.7
			2	18歳成人を見据えた消費者教育や主権者教育の取組が進められている。	2.3	2.5	2.6
V	取組 健康管理・体力向上への理解の、積極的な健康	保健・安全・体育指導の充実	1	換気、手洗い、互いの距離とマスク着用等、新型コロナウイルス感染症の対策の徹底が進められている。	3.1	3.2	3.3
			2	生徒会活動や（学校保健委員会・PTA等と連携した取組）等による生徒や家庭の意識の向上が進められている。	2.6	2.8	2.7
			3	性に関する指導や薬物乱用防止等について、段階を踏まえた指導や講師活用による指導の取組が進められている。	3.3	3.1	3.2
			4	避難訓練等での指導や日頃の指導を通じて、危険予知や自分の身を自分で守る意識を高める指導が進められている。	3.2	3.3	3.1
			5	教科や体育的行事、部活動等での指導を通じて、体力・運動能力の向上やそれらを自主的な取組につなげる指導が進められている。	3.1	3.1	3.1
			6	給食指導・食に関する指導を通じて、栄養と健康についての理解と食に関する意識向上が進められている。	3.1	2.9	3.1
VI	「開かれた教育課程」や「信頼される学校づくり」の推進	校「開かれた教育課程」の推進	1	経営方針や教育活動の意義・成果等の積極的な広報の推進と学校評価の在り方の改善が進められている。	2.9	3.1	3.1
			2	家庭との連携及び（PTA活動）の充実が進められている。	2.6	2.8	2.5
			3	義務教育9年間を見通した指導の実現に向けた小中連携の充実が進められている。	2.4	2.6	2.6
			4	校区コミュニティ協議会や学校支援ボランティアの活用等、地域との連携・協働が進められている。	2.6	2.6	2.5
			5	創立40周年を踏まえた学校や伝統に対する誇りと自覚を培う取組が進められている。	2.5	2.8	2.5
		教育環境の整備	1	環境教育、清掃などの環境美化や緑化活動において、生徒の取組を生かしながら活動が進められている。	3.0	2.9	3.1
			2	校内掲示や教室設営の工夫等による学習環境や言語環境を整える取組が進められている。	2.9	2.8	3.0
			3	安全点検を徹底するとともに、施設・設備の充実や補修改善が進められている。	3.0	3.1	3.2
		員研修の充実（教員）	1	学習評価を中心に、学習指導要領を踏まえた指導の在り方についての研修を進めている。	3.2	3.1	3.1
			2	GIGAスクールの実現に向けて、ICT活用や情報モラル指導の在り方などについての研修を進めている。	2.9	3.0	3.1
			3	多様な発達、異なるニーズの生徒に対応する指導の在り方や指導の技術などについての研修を進めている。	2.8	3.0	3.1
		の確保と業務の厳正	1	”0（ゼロ）無事故・無違反”の達成を目指して、法令遵守と不祥事根絶への強い意識を持って職務に当たっている。	3.6	3.7	3.7
			2	校務の分担や内容の見直し、校務支援システムの活用などにより、業務の精選・適正化が進められている。	2.7	3.0	3.0
			3	「業務時間の上限」や自身の健康管理を踏まえて、効率的な業務遂行を進めている。	2.5	2.7	2.9